

表紙(別途データ提出)

亀田総合病院広告（表紙裏）カラー

日本エンドオブライフケア学会 第 9 回学術集会

「いのち」をつなぐ営み
ーエンドオブライフケアの本質を探るー

プログラム集

開 催 日 2026 年 10 月 3 日(土) ～ 10 月 4 日(日)
オンデマンド配信期間 10 月 15 日(木)～11 月 30 日(月)
会 場 つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 20 番 3 号
学 術 集 会 長 足立 智孝 (亀田医療大学)
副学術集会長 秋山 正子 (マギーズ東京/暮らしの保健室)
ホ ー ム ペ ー ジ <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eolc2026>

事 務 局 亀 田 医 療 大 学
〒296- 0001 千 葉 県 鴨 川 市 横 者 4 6 2
運 営 事 務 局 (株) ソ ウ ブ ン ・ ド ッ ト コ ム
〒116-0011 東 京 都 荒 川 区 西 尾 久 7-12-16 3F
E-mail: eolc2026@soubun.biz

【協 力】 一般社団法人つくば観光コンベンション協会 , つくば市

CONTENTS

ご挨拶	
会場へのアクセス	
会場配置図	
プレイベント開催	
参加者の皆様へ	
講演・シンポジウム発表者の皆様へ	
一般演題口演発表者の皆様へ	
一般演題示発表者の皆様へ	
座長の皆様へ	
交流集会・委員会企画企画者の皆様へ	
日程表	
プログラム	
後援・協賛企業／団体 ご芳名一覧	
企画委員・実行委員一覧	

ご挨拶

この度、2026年10月2日(金)(プレイベント)、3日(土)・4日(日)(本大会)に、日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会を、ハイブリッド形式(茨城県つくば市・つくば国際会議場および Web[オンデマンド配信])にて開催できますことを、大変うれしく存じます。

ご参加くださる皆様、ご発表・ご登壇いただく皆様、そして本大会の開催に向けてご支援・ご協力を賜りました多くの皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、本学会は2016年の設立以来、「すべての人にいつか訪れる死についてともに考え、最期までその人らしい生と死を支えるケア」、ならびに「大切な人を見送ったご家族がその後の人生を生きていくことを支えるケア」のあり方を探求してまいりました。

本学術集会は、学会設立10周年の記念大会となります。これを機に、本学会がこれまで取り組んできた、私たち一人ひとりの「いのち」を最期まで生きる営み、そして遺されたご家族にとって大切な人の「いのち」をつなぐ営みをエンドオブライフケアとして改めて捉え直し、本大会のテーマを『「いのち」をつなぐ営み—エンドオブライフケアの本質を探る—』といたしました。

エンドオブライフケアの領域においては、医療・保健・福祉のみならず、人文社会科学分野においても研究が進展し、学際的かつ多職種による多様な手法が開発・実践されています。しかし、いかなる手法においても、すべてのケアには必ず「言葉」が伴います。それは時に補助的役割を担い、また時に「言葉」そのものが主要なケアとなります。

哲学者・井筒俊彦は、文字として表現される「言葉」に対し、文字では表現し尽くせない豊饒な意味の揺らぎを「コトバ」と表現しました。「コトバ」には、病む人のそばに静かに寄り添う「沈黙」も含まれます。生と死に向き合う場面においては、「言葉」を超えた「コトバ」を介するケアの重要性も、改めて見つめ直す必要があると考えます。本学術集会が、ケアの本質的要素である「言葉」および「コトバ」を介した「いのちの営み」について、多様な視点から議論を深める場となることを願っております。

筑波研究学園都市として多様な知が集うこの地において、専門や立場を超えた対話が重なり合い、互いに学び合い、深く思索をめぐらせるような学術集会となれば幸いです。つくばの豊かな自然と知の環境に触れながら、皆様と実りある時間を共有できますことを、心より楽しみにしております。

日本エンドオブライフケア学会 第9回学術集会
学術集会長 足立智孝
(亀田医療大学看護学部 教授)

会場へのアクセス

つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 20 番 3 号

<https://www.tsukuba-icc.com>



会場公式サイト

会場周辺地図



交通アクセス

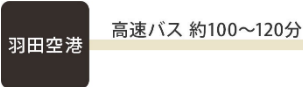
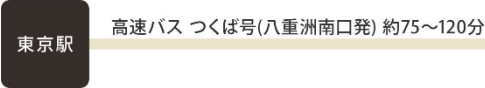
つくばエクスプレス



JR + バス



高速バス



公式アクセスサイト



つくばセンター（バスターミナル）

エスカレーターでベデストリアンデッキ
(歩行者専用道路)にのぼり直進

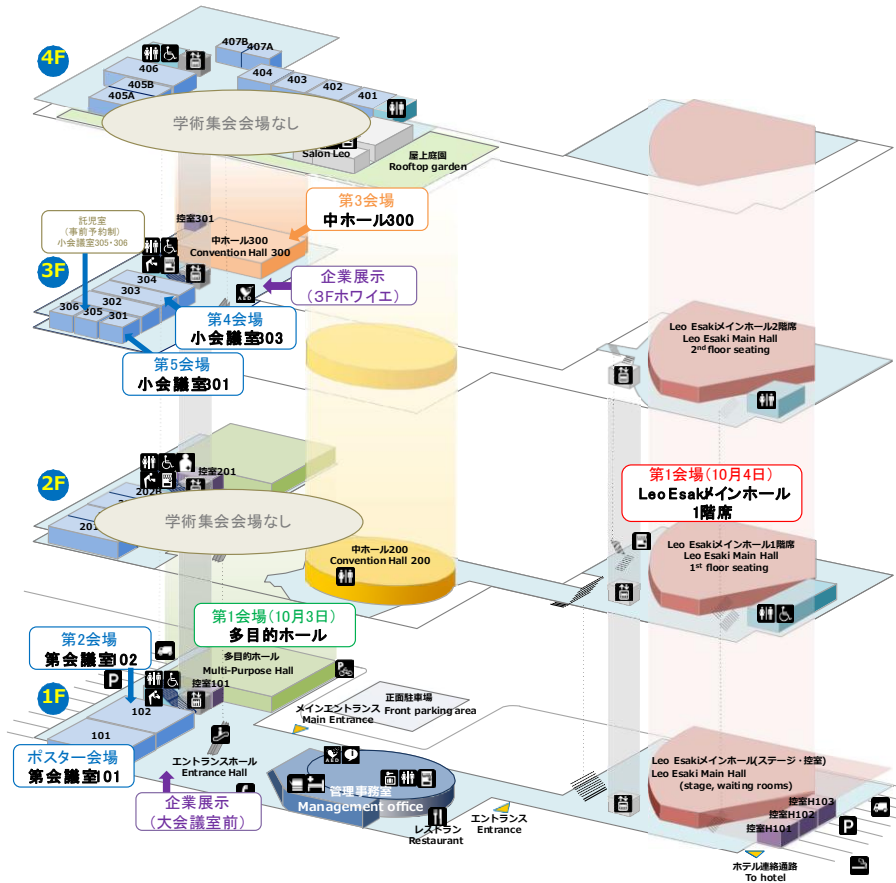
徒歩 約8分

つくば国際会議場

お車でお越しの方へ

会場駐車場は台数に限りがございます。公共交通機関または近隣の駐車場をご利用ください。駐車場の詳細は、公式ページをご確認ください。駐車場は全て有料です。

会場配置図



インフォメーション
Information



トイレ
Toilet

多目的トイレ
Multi-Purpose toilet

オストメイト対応トイレ
Ostomate toilet

救護室
First-aid room



駐車場
Parking area



駐輪場
Bicycle parking area



搬入口
Delivery entrance



コインロッカー
Coin locker



公衆電話
Telephone



エレベーター
Elevator



エスカレーター
Escalator



レストラン
Restaurant



喫煙所
Smoking area



給水所
Water service



FAX・コピー・プリンター(有料)
Facsimile & Copy & Printer (pay)

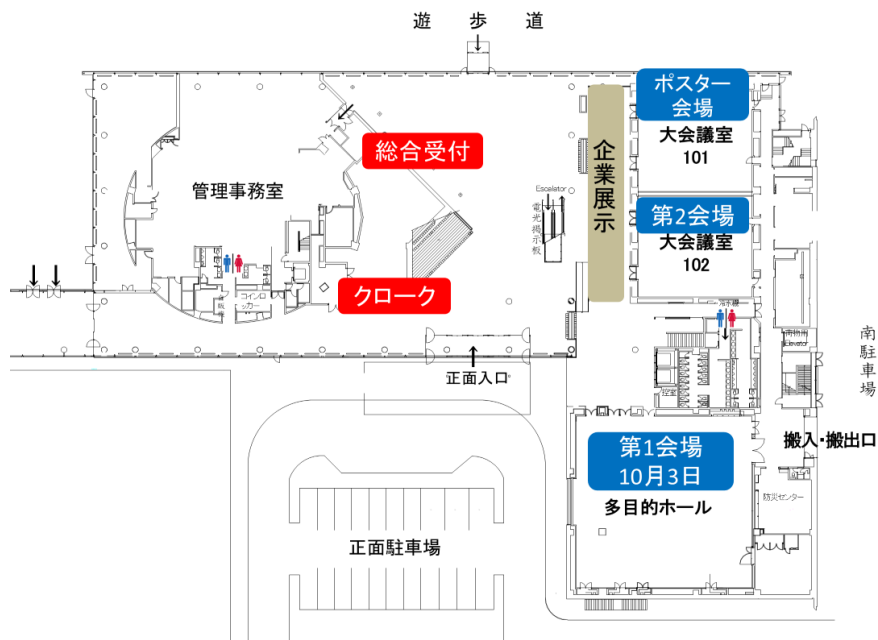


飲料自動販売機
Automatic vending machine (soft drinks)

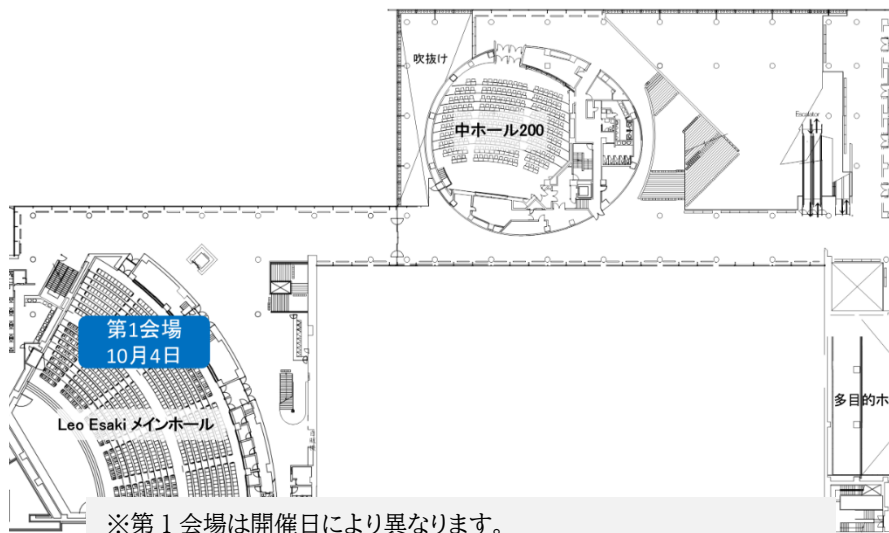


AED(自動体外式除細動器)
Automated External Defibrillator

1 階フロアマップ



2 階フロアマップ



※第1会場は開催日により異なります。
10月3日:多目的のホール、10月4日:Leo Esaki メインホール

3 階フロアマップ



プレイベント開催

一般社団法人 日本エンドオブライフケア学会 第9回学術集会



市民公開プレイベント 映画上映会 & トークショー



2026 10/2(金) 18:30~21:30 ※18:00開場

会場 つくば国際会議場 第1会場 ※1F多目的ホール（つくば市竹園2丁目20-3）

参加費 無料！

事前申込み



ドキュメンタリー映画「あなたのおみとり」上映後、
村上浩康監督と秋山正子副学術集会長とのトークショー

様々な看取りのあり方と

看取りを通しての気づき・・・

分かち合いませんか



家での最期を希望した父と、看取りを決意した母。
息子のカメラが映し出す、戸惑いと焦燥、驚きと喜び、感謝と労い……。生と死に向き合う日々をありのままにみつめたドキュメンタリー。



1966年、宮城県仙台市生まれ。映画監督。
2012年「流ながれ」にて文部科学大臣賞。
2019年多摩川河口平潟を舞台にした連作「東京平潟」「蟹の惑星」で新藤兼人賞金賞、文化庁優秀記録映画賞、門真国際映画祭最優秀ドキュメンタリー作品賞、座・高円寺ドキュメンタリー映画祭大賞、キネマ旬報文化映画ベスト10入賞など。



1950年、秋田県秋田市生まれ。
聖路加看護大学卒業後、看護教育に従事。1992年から東京で訪問看護を始め、2001年、ケアーズ 白十字訪問看護ステーションを設立。2011年に新宿で「暮らしの保健室」を開設し、地域の生活に根差した在宅医療・介護の活動としくみづくりに尽力。2016年、がんを脱した人やその家族・友人らをサポートするマギーズ東京を設立し、センター長に就任。2019年、「フローレンス・ナイチンゲール」取材。受賞。

ご案内 第9回学術集会は、10月3日4日同会場で開催しています。市民公開企画以外は有料で参加できます。
お問合せ 第9回学術集会大会事務局 亀田医療大学（那須） E-mail: eolc2026@kameda.ac.jp



参加者の皆様へ

1. 受付場所と時間

総合受付・場所:つくば国際会議場 1 階ホワイエ

受付時間:10 月 3 日(土) 8:30~17:30

10 月 4 日(日) 8:30~14:30

※10 月 2 日(金)のプレイベントの受付は、会場前に設置します。

2. 受付方法

【事前申込をされた方へ】

受付は不要です。開催の 2 週間ほど前から Confit マイページ (<https://eolc.confite.atlas.jp/>) で参加証(名札)がダウンロードできますので、そちらをご自身で印刷してご持参ください。会場入口等に名札ケースを用意しています。ケース内に名札を入れてご着用ください。

※カラー印刷が難しい方、当日お忘れの方は総合受付にお申し出ください。その際、参加証の PDF 画面をスマートフォン等でご提示いただけますとスムーズです。

【名札・参加証】

名札・参加証は PDF 発行です。参加登録時の Confit マイページにログインして、参加登録情報の下の「参加証ダウンロード」のボタンからダウンロードしてください。なお、名札と参加証は A4 サイズに一緒に面付されています。

参加登録情報

登録情報を表示	請求書ダウンロード
領収書ダウンロード	参加証ダウンロード

【当日申込をされる方へ】

総合受付にお申し出ください。窓口で受付対応をいたします。なお、会場でのお支払い方法は、現金のみとする予定です。おつりのないようにご用意をお願いいたします。

3. クローク

1F エントランスホールにクロークを設置いたします。貴重品や生もの、濡れた傘はお預かりできませんのでご了承ください。また、必ず各日とも時間内にお引き取りをお願いいたします。

【利用時間】

- ・10月3日(土) 8:30~18:45
- ・10月4日(日) 8:30~16:40

4. 抄録集、プログラム集

「抄録集」はPDF 発行です。印刷冊子の配布はありません。メールでパスワード等をご連絡しますので、ダウンロードしてご覧ください。

「プログラム集」は、抄録集の内容から抄録以外を抜粋したものです。8月下旬までにホームページに掲載しますので、どなたでもご覧いただけます。また、事前参加登録を完了された方と学会員の方には、プログラム集の印刷冊子を事前送付します。

5. 飲食・休憩

講演・発表会場内では、ふた付き容器に入った水・お茶・スポーツドリンクのみお持ち込みいただけます。ただし、ランチョンセミナー開催時は、指定会場内でお食事いただけます。

専用の休憩室は設けておりません。休憩の際は、館内ホワイエ等の共用スペースをご利用ください。

【ランチョンセミナー】

10月3日(土)は第2会場と第3会場、4日(日)は第3会場でランチョンセミナーを開催予定です。企業協賛によるお弁当付きセミナーは事前申込制です。

<事前申込をされた方>

- ・ 事前申込が完了している方は、名札に該当セミナーの記載があります。
- ・ 開始時間までに会場へお越しください。入り口でお弁当をお渡しします。
- ・ 開始から5分経過しましたら、お弁当を受け取る権利は消失します。

<事前申込をされていない方>

- ・ 開始から5分経過後、お弁当に余りがある場合に限り、お渡しします。

6. 企業展示

1 階大会議室前(第 2 会場前)および 3 階ホワイエにおいて、企業・団体による展示、関連商品の紹介、地域物産および書籍の販売等を行います。出展企業・団体の詳細は、協賛一覧をご覧ください。

7. お子様連れの方・託児所

学術集会期間中、事前にお申し込みいただいた方を対象に、会場内に託児所を設置します。

- ・対象:1 歳以上、未就学児までのお子様
- ・場所:3 階「和室 305・306」
- ・利用時間:10 月 3 日(土)・4 日(日) 9:00~17:00

お子様連れでご参加の方は、総合受付へお立ち寄りください。同伴されるご家族には同伴者用参加証をお渡します。会場内では必ずご着用ください。

※託児室は事前予約制です。当日の申込みはできません。

※利用は無料ですが、無断キャンセルをされた場合は料金を申し受けます。

8. 会場内でのインターネットの接続

つくば国際会議場内のロビー・ホワイエ等の共有スペースでは、「IBARAKI FREE Wi-Fi」をご利用いただけます。

SSID:IBARAKI-FREE-Wi-Fi

パスワード:ibarakiken

9. 注意事項

【会場利用について】

- ・全館禁煙です。
- ・会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。

【権利保護について】

- ・講演・発表内容の撮影・録音・録画を行うことは権利侵害となりますため、固く

禁止いたします。撮影・録音等が確認された場合は、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。

- ・報道・記録関係者(腕章または取材者証着用者)のみ、写真撮影・録画・録音を許可します。取材をご希望の場合は総合受付にお申し出ください。

【ご参加にあたって】

- ・感染予防にご留意いただき、体調不良の際はオンデマンド配信の視聴とする、又はお早目にご帰宅いただくなど、自己管理をお願いいたします。
- ・交流集会参加の際は、マナーを守ってご参加ください。意見交換の際は、企画趣旨にそって意見交換を行い、意図的に何かを宣伝することや、当該企画の趣旨と無関係な内容の発言をすることはお控えください。
- ・各会場での呼び出しは行いません。

【災害発生時の避難】

- ・災害発生時は各会場の避難アナウンスに従ってください。
- ・会場では非常口や避難経路をご確認ください。
- ・避難時にエレベーターは使用しないでください。

【救護室について】

- ・救護が必要な方はお近くのスタッフまでお申し付けください。

10. オンデマンド配信

本学術集会では、一部のプログラムをオンデマンド配信します。対象プログラムは、日程表内のオンデマンド配信マークをご確認ください。

配信期間:2026 年 10 月 15 日(木)~11 月 30 日(月)

視聴方法:参加登録時にご登録いただいたメールアドレス宛にご案内します。

※オンデマンド配信は講演部分のみを対象とし、総合討論および質疑応答は配信しません。

※講演内容の録画・録音・撮影、スクリーンショット、転載および第三者への共有は禁止します。

※視聴に必要な通信環境および通信費は、参加者ご自身でご準備・ご負担ください。

講演・シンポジウム発表者の皆様へ

担当プログラムの 30 分前までに1F ホワイエ総合受付「座長・演者受付」にお越しください。PC 受付と控室にご案内いたします。

1. データ作成

- ・会場で使用する PC は、OS は Windows です。アプリケーションは Microsoft Power Pointです。Macintoshの場合は Microsoft Power Pointで作成のうえ、各自、Windows 環境で問題ないことをご確認のうえ、データをご持参ください。PC をお持ち込みすることはできません。ご了承ください。
- ・画面の解像度はフル HD(1920 × 1080、アスペクト比 16:9)です。スライドサイズは縦横比 16:9 で作成ください。フォントは OS に標準装備されているものでお願いします。
- ・発表データ内に動画や大量の画像を入れる場合、スムーズに表示されないことがありますので、データを軽くするなどの対応をお願いいたします。
- ・発表データは会場内の PC にいったんコピーさせていただきますが、学会終了後に主催者側が責任をもって消去いたします。
- ・Power Pointの「発表者ツール」機能は利用いただくことができません。予めご了承ください。

2. 利益相反

- ・発表スライドの 2 枚目に利益相反(COI)について開示をお願いいたします。下記、サンプルをご参照のうえ、開示報告を行ってください。サンプルは学術集会ホームページよりダウンロードいただけます。

<申告すべき COI がない場合>

日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会 COI開示 筆頭演者名：〇〇 〇〇
演題発表に関連し、 開示すべきCOI関係にある企業などはありません

<申告すべき COI がある場合>

日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会 COI開示 筆頭演者名：〇〇 〇〇	
演題発表に関連し、発表者全員を対象とした開示すべき COI 関係にある企業などとして	
① 顧問	なし
② 監査者・相談	なし
③ 臨時講演料	なし
④ 講演料	なし
⑤ 原稿料	なし
⑥ 研究費・共同研究費	企業名〇〇・COIがある項目には、企業名等を報告する。
⑦ 寄附金・寄付	企業名〇〇
⑧ 寄附講座所属	企業名〇〇
⑨ 試薬・機器・试剂等の供与	企業名〇〇
⑩ 特別な要請の提供	なし

一般演題口演発表者の皆様へ

1. データ作成

- ・会場で使用する PC は、OS は Windows です。アプリケーションは Microsoft Power Pointです。Macintoshの場合は Microsoft Power Pointで作成のうえ、各自、Windows 環境で問題ないことをご確認のうえ、データをご持参ください。PC をお持ち込みすることはできません。ご了承ください。
- ・画面の解像度はフル HD(1920 × 1080、アスペクト比 16:9)です。スライドサイズは縦横比 16:9 で作成ください。フォントは OS に標準装備されているものでお願いします。
- ・発表データ内に動画や大量の画像を入れる場合、スムーズに表示されないことがありますので、データを軽くするなどの対応をお願いいたします。
- ・発表データは会場内の PC にいったんコピーさせていただきますが、学会終了後に主催者側が責任をもって消去いたします。
- ・Power Pointの「発表者ツール」機能は利用いただくことができません。予めご了承ください。

2. 利益相反

- ・発表スライドの 2 枚目に利益相反(COI)について開示をお願いいたします。下記、サンプルをご参照のうえ、開示報告を行ってください。サンプルは学術集会ホームページよりダウンロードいただけます。

<申告すべき COI がない場合>

日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会 COI開示 筆頭演者名：〇〇 〇〇
演題発表に関連し、 開示すべきCOI関係にある企業などはありません

<申告すべき COI がある場合>

日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会 COI開示 筆頭演者名：〇〇 〇〇	
演題発表に関連し、発表者全員を対象とした開示すべき COI 関係にある企業などとして	
① 職別	なし
② 所属先・利益	なし
③ 特許権関係	なし
④ 講演料	なし
⑤ 講演料	なし
⑥ 学術研究・共同研究費	企業名〇〇=COIがある項目には、企業名等を明記する。
⑦ 留学費関係	企業名〇〇
⑧ 寄付講座所属	企業名〇〇
⑨ 執筆・講演・教養等の依頼	企業名〇〇
⑩ 特許権関係の提供	なし

3. 受付

- ・発表者は、発表群の開始 30 分前までに 3 階ホワイエ「PC 受付」にて発表ファイルの受付および動作確認を行ってください。
- ・発表ファイル名には「演題番号」と「発表者氏名」をご記入ください。

例: Ox-1_発表者氏名.pptx

- ・発表ファイルは USB メモリに保存し、当日ご持参ください。USB メモリを介したウイルス感染を防ぐため、予めウイルスチェックをお願いいたします。

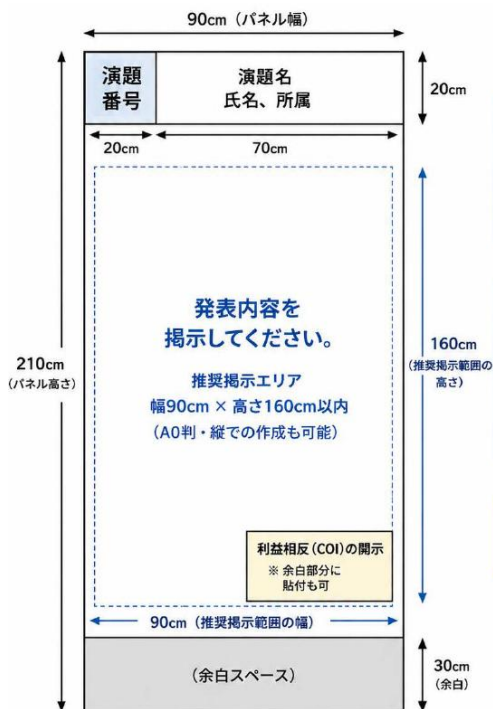
4. 発表

- ・発表者受付はありません。発表セッション開始 5 分前までに、直接会場へお越しください。
- ・発表者は、次演者席(演台付近)にご着席ください。
- ・発表時間は、1 演題につき発表 7 分、質疑応答 3 分です。
- ・発表は座長の進行により行われます。座長が演題名、お名前をお呼びしましたら発表を開始してください。
- ・発表時はスタッフがファイルを開き、スライドショーを投影します。スライド送りは、演台上のマウス、キーボードにてご自身で操作をお願いいたします。
- ・レーザーポインターをご使用の際は、Power Pointポインターオプションをご利用ください。
- ・会場で資料配布を行うことはできません。
- ・発表者に欠席者が出た場合は、発表順を繰り上げて進行する場合があります。

一般演題示説発表者の皆様へ

1. ポスター作成要項

- ・ポスターパネルを図のように用意いたします。
- ・掲示範囲は、幅90cm×高さ160 cm以内です。規定範囲内であれば、複数枚に分けて掲示することも可能です。
- ・演題番号(幅 20 cm×高さ 20 cm)は事務局で用意します。演題名、所属、発表者氏名は、各自でポスター上部にご記入ください。
- ・ご自身のポスター内に演題番号が記載されている場合は、演題番号の上から掲示していただいても差し支えありません。
- ・掲示用の画鋏は会場に用意します。テープ等は使用しないでください。



2. 利益相反

- ・発表時に利益相反に関する記載をポスター内に必ず入れてください。図のようにポスターパネルの右下など見やすい位置に貼付してください。
- ・開示内容および様式については、●頁「2. 利益相反」をご参照ください。

3. 受付

- ・当日、ポスター受付はありません。作成いただいたポスターをご持参のうえ、ポスター会場(1F 大会議室 101)の所定のパネルに、発表者ご自身で貼付してください。
- ・ポスターは原則として 10 月 3 日(土)9:00～10:30 に貼付してください。やむを得ず時間内に貼付できない場合は、ポスター発表が行われていない時間帯に貼付していただきますようお願いいたします。4日(日)に発表される方も、可能な限り 3 日(土)中の掲示にご協力をお願いいたします。
- ・ポスターは原則として 10 月 4 日(日)14:30～15:30 に撤去してください。
- ・貼付時間および撤去時間を遵守していただけますようご協力をお願いいたします。
- ・指定された撤去時間までに撤去されていないポスターは、事務局にて処分させていただきますので、ご了承ください。

4. 発表

- ・発表セッション開始 10 分前までに、演題群の最初の演題前へお集まりください。発表者はリボンを着用してポスターの前で待機してください。
- ・座長の進行に従い、順番に発表・質疑応答を行っていただきます。
- ・持ち時間は、1 演題につき発表 5 分、質疑 2 分の計 7 分です。時間内に発表が終了するようご協力をお願いいたします。
- ・会場で資料配布を行うことはできません。
- ・発表者に欠席者が出了場合は、発表順を繰り上げて進行する場合があります。

座長の皆様へ

一般演題 口演発表 座長

- ・1F ホワイエ総合受付「座長・演者受付」で受付をお願いいたします。
- ・受付後、セッション開始 5 分前までに、会場の「次座長席」にご着席ください。
- ・発表時間は 1 演題 10 分(発表 7 分、質疑応答 3 分)です。円滑な進行にご協力をお願いいたします。
- ・発表者の欠席があった場合は、発表順を繰り上げて進行してください。

一般演題 示説発表 座長

- ・セッション開始 10 分前までに、ポスター会場(1F 大会議室 101)の座長受付へお越しください。
- ・座長用名札をお渡ししますので、ご着用をお願いいたします。演題群開始 5 分前までに、担当演題群の最初の演題パネル前で待機してください。
- ・スタッフより指し棒をお渡ししますので、各発表者への受け渡しをお願いいたします。
- ・発表時間は 1 演題につき 7 分(発表 5 分、質疑 2 分)です。円滑な進行にご協力をお願いいたします。
- ・欠席の演題がある場合は、発表順を繰り上げて進行してください。
- ・終了後は、スタッフに指し棒・座長用名札をご返却ください。

講演・シンポジウム 座長の方へ

担当プログラムの開始 30 分前までに1F ホワイエ総合受付「座長・演者受付」にお越しください。控室にご案内いたします。

交流集会・委員会企画 企画者の皆様へ

受付・開始まで

- ・受付はありません。会場へは、原則として開始 10 分前までに直接お越しください。前のプログラムが行われている場合は、終了後にご入場ください。
- ・準備、資料配布および機器の確認等は、企画者ご自身で行ってください。
- ・事前の打ち合わせが必要な場合、専用の控室をご用意しておりません。館内ホワイエ等の共有スペースをご利用ください。

発表資料

- ・発表資料の事前提出は不要です。
- ・使用する発表資料には、利益相反(COI)の有無を明示してください。また、研究や事例等を取り扱う場合は、発表に関する研究対象者や事例当事者等の同意やプライバシー保護等の倫理的配慮に関する記載を含めてください。
- ・配布資料の印刷およびコピーは、企画者ご自身で行ってください。

会場設備

- ・会場には、パソコンを 1 台用意しています。OS は Windows 11、アプリケーションは Microsoft Office 2021 です。パソコンは HDMI 接続でプロジェクターにつながっています。
- ・ご自身のパソコンを持ち込み、会場のパソコンと差し替えて使用することも可能です。必要に応じて、HDMI 変換アダプター等をご持参ください。
- ・その他の機器、備品および資材が必要な場合は、原則として企画者ご自身でご準備ください。
- ・壁面への貼り付けは禁止されています。チラシや案内等を掲示する場合は、会場スタッフまたは事務局の指示に従ってください。
- ・受付や資料配布に使用する机・椅子は会場内に配置してください。

運営・片付け

- ・当日の運営、進行、時間管理および終了後の片付けは、すべて企画者ご自身で行ってください。

日程表 第 1 日目 2026 年 10 月 3 日(土)

見開き 2 頁(別データあり)

見開き 2 頁

プログラム

イベント(市民公開企画)10月2日(金)

第1会場(1F 多目的ホール)

18:30～21:30 映画「あなたのおみとり」上映 & トークショー

演者:村上 浩康 (映画監督)

進行:秋山 正子 (マギーズ東京)

第1日目 10月3日(土)

第1会場(1F 多目的ホール)

9:00～9:20 開会式

開会の言葉 長江 弘子 (日本エンドオブライフケア学会理事長)

9:40～10:40 大会長講演

エンドオブライフケアにおける「言葉」と「コトバ」

座長:秋山 正子 (マギーズ東京)

演者:足立 智孝 (亀田医療大学看護学部)

10:50～11:50 特別講演1

ACPにおける倫理的な対話とは—日本型 ACP の考え方

座長:小野 若菜子 (東京都立大学健康福祉学部)

演者:会田 薫子

(東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座)

13:20～14:20 市民公開企画1

言葉とケア

座長:秋山 正子 (マギーズ東京)

榊原 千秋 (株式会社プラスぽぽぽ)

演者:徳永 進 (野の花診療所)

14:30～15:30 市民公開企画 2

地域医療におけるサイエンス・クラフト・アート

座長:秋山 正子 (マギーズ東京)

演者:花戸 貴司 (東近江市永源寺診療所)

15:40～16:40 市民公開企画 3

無心の対話ーケアは無心／無心はケア

座長:浅見 洋 (西田幾多郎記念哲学館)

演者:西平 直 (上智大学グリーンケア研究所)

藤田 一照 (曹洞宗僧侶)

17:30～18:30 癒し企画

ハープによるスピリチュアルケア:患者さんの魂に寄り添って

進行:足立 智孝 (亀田医療大学看護学部)

演者:西野 みゆき (亀田総合病院)

第2会場(1F 大会議室 102)

9:30～10:30 教育講演1

ホスピス緩和ケアのエッセンスー過去・現在そして未来ー

座長:栗原 幸江 (上智大学グリーフケア研究所)

演者:志真 泰夫 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)

10:40～12:10 シンポジウム1

「生きる力」「語る力」を引き出す 建築デザイン ケアとアート

座長:高橋 在也 (千葉大学大学院医学研究院)

演者:佐藤 由巳子 (マギーズ東京, 佐藤由巳子プランニングオフィス)

小堀 哲夫 (株式会社小堀哲夫建築設計事務所)

12:20～13:10 ランチョンセミナー1 共催:株式会社エンゼルケア

死後の世界(仮)

座長:孫 大輔 (鳥取大学医学部)

演者:早川 賢一 (株式会社エンゼルケア)

13:30～15:00 メインシンポジウム1

食べることをめぐるエンドオブライフ케어多職種が紡ぐ『いのち』のつながりー

座長:那須 真弓 (亀田医療大学看護学部)

演者:川口 美喜子 (札幌保健医療大学大学院)

矢野 聡子

(茨城県立医療大学 認定看護師教育課程「摂食嚥下障害看護」)

内山 量史 (一般社団法人 日本言語聴覚士協会)

15:10～16:10 教育講演 2

EOL ケア研究法について－研究をどうすすめていくか－

座長：長江 弘子（亀田医療大学看護学部）

演者：宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科）

16:20～17:20 特別企画1 学会図書企画

『その時間(とき)を聴く－エンドオブライフケアのナラティブ・アプローチ』

刊行にあたって

座長：長江 弘子（亀田医療大学看護学部）

演者：足立 智孝（亀田医療大学看護学部）

島田 千穂（佐久大学人間福祉学部）

角田 ますみ（杏林大学保健学部）

17:30～18:30 市民と専門職が協働するための実践・教育・研究委員会企画

語ろう！エンドオブライフのつながりと支え合いの「場」づくり

企画者：市民と専門職が協働するための実践・教育・研究委員会企画

第3会場(3F 中ホール 300)

9:30～10:30 研究活動推進委員会企画

臨床と研究をつなぐティーサロン

企画者：

荻野 美恵子（東海大学，東京大学，上智大学），梶井 文子（東京慈恵会医科大学），川上 千春（浜松医科大学），岩淵 起江（仙台赤門短期大学），富樫 理恵（山形県立保健医療大学），遠山 寛子（東京工科大学）

10:40～12:10 シンポジウム 2

いのちの継承を考える－人類学、社会学、哲学からのアプローチ－

座長：浅見 洋 （西田幾多郎記念哲学館）

演者：田代 志門 （東北大学大学院文学研究科）

浮ヶ谷 幸代（相模女子大学）

竹之内 裕文（静岡大学未来社会デザイン機構）

12:20～13:10 ランチョンセミナー2 共催：株式会社レナテック

認知症の予防と早期発見－最後まで自分らしく生きるための最新研究－

座長：加藤 桂 （株式会社レナテック代表取締役）

演者：稲垣 精一 （株式会社レナテック最高顧問）

13:30～14:30 総務委員会企画

エンドオブライフケアの概念の検討：人々にケアをどう伝えていくのか？

企画者：

小野 若菜子（東京都立大学），高橋 在也（千葉大学），川上 千春（浜松医科大学），長江 弘子（亀田医療大学），那須 真弓（亀田医療大学），中村 円（札幌医科大学），川添 紀子（日本医科大学付属病院），戸谷幸佳（群馬県民健康科学大学）

14:40～16:10 メインシンポジウム 2

臨床対話における倫理性

座長：足立 智孝 （亀田医療大学看護学部）

演者：宮坂 道夫 （新潟大学大学院医歯保健学研究科）

坂井 さゆり（新潟大学大学院医歯保健学研究科）

池田 喬 （明治大学文学部）

16:50～18:20 シンポジウム 3

市民と専門職の協働による暮らしの中の看取り

座長:孫 大輔 (鳥取大学医学部)

演者:大井 裕子 (おおい在宅緩和ケアクリニック)

泰田 康司 (NPO 法人くみサポ, 株式会社 studio TND)

鈴木 信行 (NPO 法人患医ねっと)

第4会場(3F 小会議室 303)

9:20～10:10 交流集会1

ACP について、話してみませんか？

ーがんサバイバーへの ACP 支援を共に考えるー

企画者:

熊田 奈津子 (和洋女子大学看護学部), 佐藤真由美 (国際医療福祉大学大学院)

10:40～11:10 交流集会 2

意思決定の倫理を考えようー患者と医療者の認識のずれに着目してー

企画者:

鶴若 真理 (聖路加国際大学), 宇野澤 千尋 (聖路加国際大学),
伯耆原 真理子 (聖路加国際大学大学院), 高野 真優子 (聖路加国際病院)

11:20～12:10 交流集会 3

健康な時からの ACP 推進のための対話促進ツール:Let's Talk Card®
の開発

企画者:

長江 弘子 (亀田医療大学), 谷垣 静子 (岡山大学大学院), 片山 陽子 (香川県立保健医療大学), 坂井 志麻 (上智大学), 乗越 千枝 (四天王寺大学), 照井 レナ (日本医療大学), 岡田 麻里 (香川県立保健医療大学), 仁科 祐子 (鳥取大学), 酒井 昌子 (聖隷クリストファー大学), 岩城 典子 (マギーズ東京), 彦 聖美 (公立小松大学), 高橋 在也 (千葉大学), 中村 円 (札幌医科大学), 川添 紀子

(日本医科大学付属病院), 那須 真弓(亀田医療大学), 阿部 美鈴(亀田医療大学), 青山 美紀子(横浜創英大学)

13:20~14:20 口演発表 1 群 ACP

座長: 谷垣 静子 (岡山大学大学院保健学研究科)

O1-1 高齢者を対象とした意思決定支援実践に関する教育担当者の認識の特徴

○鈴木 朋子

国際医療福祉大学大学院研究生/国際医療福祉大学成田病院

O1-2 その人らしい生活を支えるための多職種カンファレンスの実践

ー介護老人保健施設における生活支援の検討ー

○北木 弥生

介護老人保健施設はまな荘

O1-3 急性期病院における ACP システム導入

ー本質理解と適切な運用を目指した取り組みー

○嶋田 安希

大津赤十字病院看護部

O1-4 外来における ACP 促進に向けた取り組みー患者の思いを紡ぐためにー

○深谷 敦子, 松井 美津恵, 林 麻友美, 岩間 奈菜

京都第一赤十字病院外来

O1-5 訪問診療を利用する在宅療養者が抱く期待とニーズの相互関係の分析

○新田 大貴^{1,3}, 彦 聖美²

1. 公立小松大学大学院サステナブルシステム科学研究科ヘルスケアシステム専攻,

2. 公立小松大学保健医療学部看護学科, 3. サードベース診療所

O1-6 地域在住高齢者の終活に対する捉え方と取り組みの現状と課題

○岩淵 起江, 森岡 薫

仙台赤門短期大学

14:30~15:30 口演発表 2 群 ACP・意思決定支援・臨床倫理

座長: 彦 聖美 (公立小松大学保健医療学部)

O2-1 高校生が医師と考えるACPのあり方

○増井 強志¹, 杉浦 真²

1. 愛知県立豊田高等学校, 2. 安城更生病院

02-2 臨床倫理部会ラウンドの導入が看護管理者の倫理的感受性に与える影響の評価－回想的比較を用いた検討－
○茶本 啓恵, 村田 佑介
佐野厚生総合病院

02-3 自退院が困難な甲状腺癌患者に対する外出支援
－クリティカルケア認定看護師が担う役割－
○小野寺 康, 千葉 美穂, 小野寺 友子, 小原 優花
岩手県立磐井病院

02-4 文献検討からみる医療・ケア現場における ACP 実践の障壁と、意思決定支援ツールとしてのエンディングノートの可能性
○赤川 直美, 家ノ上 さくら
特定非営利活動法人エンディングノート普及協会

02-5 人生の最終段階の医療・ケアにおける話し合いの実態およびその関連要因
○山田 悠貴¹, 薬袋 淳子², 成 順月²
1. 中津川市民病院, 2. 岐阜医療科学大学

02-6 認知症グループホームにおける終末期ケア
－継続的アセスメントに基づく本人の意思を尊重した看取りの実践－
○高梨 のぞみ
社会福祉法人法延会グループホーム旧軽井沢
/長野大学大学院総合福祉学研究科博士後期課程

15:50～16:40 Meet the expert 1

Expert に聞こう！看取り文化を未来につなぐ

演者: 秋山 正子 (マギーズ東京)

花戸 貴司 (東近江市永源寺診療所)

16:50～17:50 口演発表 3 群 家族ケア・在宅ケア・多職種連携

座長: 薬袋 淳子 (岐阜医療科学大学看護学部)

03-1 地域包括支援センターにおける緩和ケアを中心とした療養を選択したがん患者への支援の実態－信頼関係が十分でない段階における家族の不安に寄り添った初期対応の困難さ－
○稲村 茉奈
榎原市地域包括支援センター北エリア

03-2 訪問看護師による在宅療養高齢者に対する「望ましい死」の達成度からみた意思決定支援の特徴

○植田 京子¹, 白井 キミカ², 小林 由里²

1. 社会福祉法人天心会ケア・ブリッジ永和, 2. 学校法人奈良学園奈良学園大学

03-3 ひとり暮らし高齢者の終末期における退院支援に関する文献レビュー

○生見 花梨, 松井 美帆

防衛医科大学校医学教育部看護学科

03-4 認知症先端治療センターにおける本人らしい生き方を支える診断早期からの意思決定支援に向けた取り組み

○大金 美羽子¹, 若林 恵子^{1,2}, 黒澤 香世^{1,2}, 竹井 真理子^{1,2}, 岩本 美由紀², 石渡 明子², 館野 周², 鈴木 由美¹, 工藤 美美¹

1. 日本医科大学付属病院看護部, 2. 日本医科大学付属病院認知症先端治療センター

03-5 失語症患者への聞き書きがもたらした看護観の相互理解と家族へのグリーフケア

○梅木 愛美, 内海 順子, 小林 俊哉, 千吉良 聡美, 木村 和美, 戸島 規子, 大河内 康光, 宮本 克彦

医療法人恵泉会せせらぎ病院

03-6 食支援から広がったその人らしさと自己実現へ向かう過程への症例報告

○齋藤 恵美子, 綾田 美衣, 後藤 香代

森山記念病院6階病棟

ポスター会場(1F 大会議室 101)

11:00～11:45 一般演題 示説(ポスター)1群

座長:伊藤 真理 (大阪医科薬科大学看護学部)

座長:岡田 麻里 (香川県立保健医療大学保健医療学部)

13:30～14:15 一般演題 示説(ポスター)2群

座長:鈴木玲子(亀田医療大学)

座長:川添 紀子 (日本医科大学付属病院)

14:30～15:15 一般演題 示説(ポスター)3群

座長:山口 乃生子 (埼玉県立大学保健医療学部)

座長:久保田 チエコ (明海大学保健医療学部)

15:30~16:15 一般演題 示説(ポスター)4 群

座長:藤村 朗子 (東京医療保健大学看護学部)

座長:中村 円 (札幌医科大学保健医療学部)

※詳細は p.〇〇ページ以降をご覧ください。

第 2 日目 10 月 4 日(日)

第1会場(2FLeo Esaki メインホール)

9:00~10:00 指定講演1 次期大会長講演

すべての人へ EOLC の^{こうせい}甦生

座長:梶井 文子 (東京慈恵会医科大学医学部)

演者:荻野 美恵子 (東海大学医学部)

10:20~11:20 特別講演 2

ケアとしてのオープンダイアログ

座長:足立 智孝 (亀田医療大学看護学部)

演者:斎藤 環 (つくばダイアログハウス)

11:40~12:20 委員会報告・学会ロゴ発表

進行:長江弘子 (日本エンドオブライフケア学会理事長)

13:30~14:30 特別講演 3

認知症の人との共同意思決定

座長: 平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合研修研究センター)

演者: 繁田 雅弘 (栄樹庵診療所)

14:40～16:10 メインシンポジウム 3

エンドオブライフケアの本質を探る

座長: 秋山 正子 (マギーズ東京)

演者: 梅田 恵 (株式会社緩和ケアパートナーズ, マギーズ東京)

演者: 榊原 千秋 (株式会社プラスぽぽぽ)

16:20～16:50 閉会式

司会: 岩城 典子 (マギーズ東京)

第2会場(1F 大会議室 102)

9:20～10:50 シンポジウム 4

医療機関と地域をつなぐ対話の力ーACP がひらく支援のかたちー

座長: 宇都宮 弘子 (在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス)

演者: 大川 薫 (亀田総合病院)

佐々木 真弓 (亀田訪問看護センター)

仲村 富美子 (さくらケアサービス)

11:00～12:00 教育講演 3

カトリック司祭・修道者の終末期を見つめて一天に帰るまで

座長: 栗原 幸江 (上智グリーンケア研究所)

演者: 山岡 三治 (イエズス会ロヨラハウス)

13:30～15:00 倫理・利益相反委員会企画

エンドオブライフケアに関する倫理的問題について検討してみよう！

企画者：

杉浦 真(安生更生病院)，足立 智孝(亀田医療大学)，小野 若菜子(東京都立大学)，谷垣 静子(岡山大学大学院)，彦 聖美(公立小松大学)

14:40～16:10 Meet the Expert 2

Expertに聞こう！Advance Care Planningの実践

演者：荻野 美恵子（東海大学医学部）

演者：平原 佐斗司（東京ふれあい医療生活協同組合研修研究センター）

第3会場(3F 中ホール 300)

9:00～10:00 特別企画 2 歴代理事長と監事による鼎談

学会設立10年と今後の展望を語る

座長：足立 智孝（亀田医療大学看護学部）

演者：島内 節 （一般社団法人 日本在宅ケア教育センター）

長江 弘子（亀田医療大学看護学部）

秋山 正子（マギーズ東京）

10:10～11:10 エンドオブライフを支える専門職の実践・教育・研究委員会企画

続・どうしてますか？グリーフケア

企画者：

荻野 美恵子(東海大学)，岩城 典子(マギーズ東京)，川添 紀子(日本医科大学付属病院)，久保 田チエコ(明海大学)，梨木 恵実子(埼玉県立大学)，那須 真弓(亀田医療大学)，平原 佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合)，戸谷 幸佳(群馬県立県民健康科学大学)，杉浦 真(安生更生病院)

11:20～12:10 交流集会 4

在宅看取りを支える人材養成のこれから:PENUT と多職種向けプログラ
ムが拓く学びの広がり

企画者:

平原 優美(公益財団法人日本訪問看護財団), 富岡 里江(株式会社ウッディ訪問
看護ステーションはーと), 沼田 華子(東京大学大学院医学系研究科), 小沼 絵理
(公益財団法人日本訪問看護財団), 岸 純子(公益財団法人日本訪問看護財団)

12:30～13:20 ランチョンセミナー4 共催:花王株式会社

触れるケアを深める ～保湿しながら、心を通わせるハンドトリートメント～

演者:安宅 ルミ子 (花王株式会社)

13:30～14:30 教育講演 4

人を動かすナラティブ

座長:秋山 正子 (マギーズ東京)

演者:大治 朋子 (毎日新聞社)

14:40～15:30 交流集会 6

オーストラリアにおける終末期意思決定

企画者: 内藤 由美 (Flinders University, College of Health and Enablement, Australia)

第4会場(3F 小会議室 303)

9:00～10:00 口演発表 4 (優秀演題賞候補)

座長:原沢 のぞみ (東邦大学看護学部)

O4-1 第1報:自由記述による都市住民の地域活動継続環境の世代比較(65歳未
満・65歳以上)

○菊池 有紀¹, 塚原 ゆかり²

1. 東京医療保健大学千葉看護学部, 2. 湘南医療大学保健医療学部

04-2 日本における終末期の意思決定に対する文化的影響

○内藤 由美

Flinders University

04-3 看護師に対する終末期ケア教育介入の特性と態度関連アウトカムへの効果
ーシステムティックレビューおよびメタアナリシスー

○神谷 綾子^{1,2}, 小関 英里³, 満島 杏子¹

1. 防衛医科大学校医学教育部看護学科, 2. 東京都立大学人間健康科学研究科看護科学域博士後期課程, 3. 自衛隊中央病院看護部

04-4 未就学の子どもをもつ終末期がん患者と家族との子どもと向き合う訪問看護
支援の1事例ー子どもとの正直なコミュニケーションを望む親としての思いに
寄り添ってー

○仲尾 由美, 伊藤 亜由美

医療法人香徳会かしのき訪問看護ステーション

04-5 待ち続けた「在宅介護」の想いを叶えるために

ーALS患者・人工呼吸器装着下における地域支援体制構築の実践ー

○羽崎 絵梨香, 畑山 ひふみ, 宮田 信悦

社会医療法人明和会大曲中通病院

04-6 終末期患者の望む暮らしを可視化し対話をはぐくむ箱庭療法的 ACP 支援

○伏見 葉子¹, 濱田 史子²

1. 日本財団在宅看護センター訪問看護からふる, 2. 聖隷訪問看護ステーション三ヶ日

10:10~11:10 口演発表群 5 地域活動・多職種連携・ACP

座長: 片山 陽子 (香川県立保健医療大学保健医療学部)

05-1 終末期意思決定支援における相互理解の形成過程

ー患者・家族・医療者の対話の前進条件に着目してー

○白崎 知美

上智大学

05-2 不確実性の高いエンドオブライフケアにおける意思決定支援プロセスの検討

ーエフェクチュエーションの適用可能性に着目してー

○角田 ますみ

杏林大学保健学部

05-3 心不全患者の準備性を踏まえたアドバンスケアプランニングの実践

○西川 裕理
杏林大学

05-4 「察する連携」から「言葉にする連携」へ

ーデスカンファレンスから見えた多職種間コミュニケーションの課題ー

○長谷川 智子¹, 増田 かれん¹, 佐藤 桂子¹, 玉田 久美子¹, 室橋 友里¹,
富山 美由紀¹, 吉本 明子¹, 田中 宏和¹, 弓野 大²
1. ゆみのハートクリニック, 2. 医療法人社団ゆみの

05-5 認知症カフェ「はななかふえ」のプログラム評価

ー参加した地域住民による質問紙調査ー

○松丸 直美¹, 長江 弘子¹, 川上 裕子², 青山 美紀子³, 大野 知代¹
1. 亀田医療大学看護学部, 2. 神奈川工科大学健康医療科学部看護学科,
3. 横浜創英大学看護学部

05-6 認知症カフェ「はななかふえ」に参加した地域住民と学生及び教員の学びと体験

ー地域住民と学生及び教員のファークスグループインタビュー(FGI)ー

○長江 弘子¹, 松丸 直美¹, 川上 裕子², 青山 美紀子³, 大野 知代¹
1. 亀田医療大学看護学部, 2. 神奈川工科大学健康医療科学部看護学科,
3. 横浜創英大学看護学部

11:20~12:10 交流集会 5

プライマリ・ケア領域における実践の質向上とナースプラクティショナーの役割を考えるー本人が望むケアを支える体制づくりに焦点を当ててー

企画者:

折戸 雅恵(地域医療振興協会公立久米島病院), 林 愛(国分寺公園クリニック),
守屋 有紀子(いなだ訪問クリニック), 吉田 有美子(聖路加国際病院)

13:30~14:30 ACP 推進のための実践・教育・研究委員会企画

臨床現場でのACPの現状と課題を共有しよう

企画者: ACP 推進のための実践・教育・研究委員会

14:50~15:50 口演発表6群 多様な対象へのケア・教育・連携

座長: 坂井 志麻 (上智大学総合人間学部)

06-1 超高齢慢性心不全患者の在宅看取りをおこなった息子介護者が在宅サービス拒絶に至った心的背景の考察

○森 亜紀

川崎医科大学高齢者医療センター在宅療養支援センター訪問看護ステーションかわさき

06-2 家族とともに末期認知症高齢者の最期の時間の過ごし方を考える

ーケアの意味を見つめる事例研究の方法論を用いてー

○佐藤 祥子¹, 佐々木 麻依²

1. 出雲市立総合医療センター, 2. 医療法人社団悠翔会ノビシロクリニック藤沢

06-3 人生の最終段階における「食べること」を支えた摂食嚥下支援の一事例

○井上 智香, 石川 晋介, 矢野 和仁

医療法人財団健和会 柳原病院

06-4 地域住民へ ACP 普及を目指した取り組み

ー産業まつりにおける「もしバナゲーム」を用いた実践的アプローチー

○伊藤 智貴, 渡邊 弥代子, 榊原 道子

知多半島総合医療センター

06-5 日本語で「ライフ・ケア」を考える

○山本 伸裕

東京医療保健大学

06-6 高齢者の在宅終末期ケアに関わる看護職・介護職・介護支援専門員の協働推進プログラムの開発

○小野 若菜子¹, 竹森 志穂², 森田 誠子³

1. 東京都立大学大学院人間健康科学研究科, 2. 医療法人財団健和会看護部, 3. 日本赤十字東北看護大学看護学部

第5会場(3F 小会議室 301)

14:50~15:40 Meet the Expert 3

Expert に聞こう:コンパッション・コミュニティをどう育てるか?

演者:竹之内 裕文 (静岡大学未来社会デザイン機構)

演者:島田 千穂 (佐久大学人間福祉学部)

ポスター会場(1F 大会議室 101)

10:00～10:45 一般演題 示説(ポスター)5 群

座長:矢野 聡子(茨城県立医療大学保健医療学部)

座長:仁科 祐子(鳥取大学医学部)

11:00～14:45 一般演題 示説(ポスター)6 群

座長:乗越 千枝(四天王寺大学看護学部)

座長:矢口 和美(公立小松大学保健医療学部)

14:30～15:15 一般演題 示説(ポスター)7 群

座長:川上 千春(浜松医科大学)

座長:戸谷 幸佳(群馬県民健康科学大学看護学部)

※詳細は p.〇〇ページ以降をご覧ください。

会期中常設企画

第5会場(3F 小会議室 301)

広報委員会企画

大切な人のエンディングストーリー

企画者:

岩城 典子(マギーズ東京), 原沢のぞみ(東邦大学), 高橋在也(千葉大学, 日本在宅ケアアライアンス), 薬袋淳子(岐阜医療科学大学), 鈴木信行(患者ねっと)

企業展示会場(3F ホワイエ)

おなかの保健室

企画者:秦 美千代(おなかの保健室)

虹色の café “未来みらい”

企画者:川口 美喜子（札幌保健医療大学保健医療学部）

一般演題 示説(ポスター)発表

一般演題 示説(ポスター)発表 1

10月3日(土)11:00～11:45

1A 群 座長:伊藤 真理（大阪医科薬科大学看護学部）

P1A-1 上越圏域におけるグリーフサポートの拠点形成

ー大人へのピアサポート実践と子ども支援に向けた体制整備ー

○山田 恵子^{1,2}, 白倉 優奈^{2,3}, 白倉 由利枝², 丸山 百美子², 金井 香織^{2,4},
池田 千鶴², 高橋 香², 高橋 れみ²

1. 四日市看護医療大学, 2. 子どもグリーフサポートおひさまの森, 3. 岐阜聖徳学園大学,
4. 上越市立飯小学校

P1A-2 人生の最終段階に対する準備状況ー属性における比較検討ー

○樋田 小百合¹, 神田 栄美子²

1. 四條畷学園大学, 2. 藍野大学

P1A-3 住民が、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できる地域づくりを
目指した、訪問看護事業所による看護相談事業の試み

○岡田 嘉代

株式会社レインボー・ナース レディーバグ訪問看護ステーション武蔵小山

P1A-4 幅広い世代における ACP の認知度・意向に関する実態調査

ーイベント参加者への調査よりー

○山田 裕加, 葉袋 淳子

岐阜医療科学大学看護学部

P1A-5 地域の寺院におけるデスカフェ初回実践報告ー参加を促す言葉と場づくりー

○満島 杏子¹, 神谷 綾子¹, 小関 英里²

1. 防衛医科大学校, 2. 自衛隊中央病院

P1A-6 配偶者と死別した高齢遺族が地域活動への参画を通じて地域住民との支え
合いを形成するプロセス

○安野 敦子

1B 群 座長:岡田 麻里 (香川県立保健医療大学保健医療学部)

P1B-1 外来通院患者とリハビリ外来利用者が抱くアドバンス・ケア・プランニング、人生会議に関する実態調査

○渡辺 卓也, 舩井 佐奈枝, 松井 佳世, 長 浩史, 清兼 亮佑, 石坂 泰三
坂井市立三国病院

P1B-2 外来通院患者とリハビリ外来利用者が抱く人生最終段階におけるスピリチュアルな苦悩に関する実態調査

○舩井 佐奈枝, 渡辺 卓也, 松井 佳世, 長 浩史, 清兼 亮佑, 石坂 泰三
坂井市立三国病院

P1B-3 がん終末期ケアにおける看護師のグリーフワークの実践と困難感の関連

○中村 正子^{1,2}、安永 ちはる³、遠藤 康恵⁴、内藤 綾子⁵、仲尾 ゆみ⁶、
栗原 幸江^{7,8,9}、秋山 正子⁷

1. 京都看護大学、2. 元愛知医科大学医学研究科緩和・支持医療学、3. 愛知医科大学病院、4. 岡山市立市民病院、5. 信州大学医学部付属病院、6. かのき訪問看護ステーション、7. 認定 NPO 法人マギーズ東京、8. 上智大学、9. 東京都立駒込病院 緩和ケア科

P1B-4 『日本型対話促進アドバンス・ケア・プランニング教育プログラム』における ACP 準備性

○原沢 のぞみ¹、坂井 志麻²、長江 弘子³、岩崎 孝子⁴、片山 陽子⁵、那須 真弓³、
高 紋子⁶、青山 美紀子⁷、高橋 在也⁸、矢野 聡子⁹、児玉 千佳子⁹

1. 東邦大学看護学部、2. 上智大学総合人間科学部、3. 亀田医療大学看護学部、
4. 杏林大学保健学部、5. 香川県立保健医療大学保健医療学部、
6. 昭和医科大学保健医療学部、7. 横浜創英大学看護学部、8. 千葉大学医学部、
9. 茨城県立医療大学保健医療学部

P1B-5 『日本型対話促進アドバンス・ケア・プランニング教育プログラム』における自己効力感の認識の変化

○岩崎 孝子¹、坂井 志麻²、長江 弘子³、原沢 のぞみ⁴、片山 陽子⁵、那須 真弓³、
高 紋子⁶、青山 美紀子⁷、高橋 在也⁸、矢野 聡子⁹、児玉 千佳子⁹

1. 杏林大学保健学部、2. 上智大学総合人間科学部、3. 亀田医療大学看護学部、
4. 東邦大学看護学部、5. 香川県立保健医療大学保健医療学部、
6. 昭和医科大学保健医療学部、7. 横浜創英大学看護学部、
8. 千葉大学大学院医学研究院、9. 茨城県立医療大学保健医療学部

P1B-6 若年成人期(18～25 歳)における Advance Care Planning に関する研究動向:スコーピングレビュー

○矢口 和美¹、彦 聖美¹、有田 弥棋子²、森木 律子³

1. 公立小松大学保健医療学部、2. 大阪医科薬科大学看護学部、

2A 群 座長: 鈴木玲子 (亀田医療大学看護学部)

P2A-1 地域住民に対するアドバンス・ケア・プランニングの普及啓発

ー病院・地域包括支援センターとの協働ー

○根岸 恵¹, 谷口 晶子²

1. 聖隷横浜病院看護相談室, 2. 横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ地域包括支援センター

P2A-2 療養通所介護を利用することによって最期まで「好きなように」生活できた
独居高齢者への支援

○鳥居 真由美

訪問看護ステーション夢

P2A-3 認知症本人の尊厳と思いを基にした取組の実践

ー地域共生社会の実現に向けた診療所の役割ー

○長坂 真弓¹, 松方 彩子³, 見城 澄子², 山口 潔³

1. 医療法人社団創福会ふくろうクリニック目白台, 2. 医療法人社団創福会ふくろうクリニック等々力, 3. 医療法人社団創福会ふくろうクリニック等々力・自由が丘・目白台

P2A-4 地域を基盤にした日本型対話促進 ACP 教育プログラムにおける Let's
Talk Card®による対話の体験 その2

○阿部 美鈴¹, 青山 美紀子², 長江 弘子¹, 那須 真弓¹, 坂井 志麻³, 原沢 のぞみ⁴,
岩崎 孝子⁵, 高 紋子⁶, 中村 円⁷, 彦 聖美⁸, 矢口 和美⁸, 横溝 珠実⁹

1. 亀田医療大学看護学部, 2. 横浜創英大学看護学部, 3. 上智大学総合人間科学部,
4. 東邦大学看護学部, 5. 杏林大学保健学部, 6. 昭和医科大学保健医療学部, 7. 札幌医科大学保健医療学部, 8. 公立小松大学保健医療学部, 9. 鳥取看護大学看護学部

P2A-5 地域を基盤にした日本型対話促進 ACP 教育プログラムの参加者による
評価 その2

○中村 円¹, 高 紋子², 川添 紀子 吉田 有美子⁴, 那須 真弓⁵, 坂井 志麻⁶,
原沢 のぞみ⁷, 岩崎 孝子⁸, 横溝 珠実⁹, 長江 弘子⁵

1. 札幌医科大学保健医療学部, 2. 昭和医科大学保健医療学部, 3. 日本大学医学部付属病院,
4. 聖路加国際病院, 5. 亀田医療大学看護学部, 6. 上智大学総合人間科学部,
7. 東邦大学看護学部, 8. 杏林大学保健学部, 9. 鳥取看護大学看護学部

P2A-6 救急・集中治療領域における終末期ケアと看護師のモラルディストレスに
関する文献検討

○藤村 朗子, 中村 玲那

東京医療保健大学立川看護学部

2B 群 座長:川添 紀子 (日本医科大学付属病院)

P2B-1 子宮頸がん同時化学放射線療法による排便障害に関する文献検討

○佐藤 由美子¹, 佐藤 真由美²

1. 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程, 2. 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

P2B-2 ヨガを通して主体性と役割を支えた緩和ケア病棟でのリハビリテーションの経験

○保坂 美里¹, 峯岸 忍¹, 矢吹 律子²

1. 筑波メディカルセンター病院リハビリテーション療法科, 2. 筑波メディカルセンター病院緩和医療科

P2B-3 緩和ケア病棟の看護師個々の死生観を共有する

ーその人らしく生きることを支え寄り添う看護とはー

○成毛 かおり

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

P2B-4 認知症を併存する高齢がん患者の治療選択における意思決定に関する文献検討

○大西 知子¹, 岩崎 孝子¹

杏林大学保健学部看護学科

P2B-5 ACP を多職種で繰り返す行う重要性

患者家族にとって大切なことを引き出すための看護とは

○田村 早紀子, 藤井 真樹

川崎市立多摩病院(指定管理者 学校法人聖マリアンナ医科大学)

P2B-6 意思表出が困難な療養者に対する ACP 推進の取り組み

ー「もしもノート」とコアメンバー育成を通してー

○内間 佐和子, 新城 かずさ, 瑞慶山 真, 仲里 真里, 新垣 一平

北中城若松病院

一般演題 示説(ポスター)発表 3

10月3日(土)14:30~15:15

3A 群 座長:山口 乃生子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

P3A-1 がん看取り期にある夫と認知機能の低下した妻における「最期まで添い遂げたい」意向に合わせた入院支援ー妻の予期悲嘆へのケアに焦点を当ててー

○梶原 弥生

在宅療養支援クリニックかえでの風 (現:東京都立多摩南部地域病院)

P3A-2 医療療養病棟の看護師が実践する脳卒中後の高齢患者の終末期における緩和ケアの実態と課題

○長橋 恵子¹, 佐々木 祐子²

1. 老人福祉施設こころつくし, 2. 新潟青陵大学

P3A-3 高齢者終末期医療における意思決定支援の構造的特徴からみた長期透析
高齢者への看護支援の示唆

○後藤 雪絵¹, 鈴木 佳代², 尾崎 千恵子³, 佐々 沙織⁴

1. 東京医療学院大学, 2. 医療法人社団泉会東名富士クリニック,
3. 介護老人福祉施設らんの里, 4. 医療法人あかね会土谷総合病院

P3A-4 家族の代理意思決定を支える看護実践に関する文献研究
ー長期透析高齢者を支える家族への看護支援の示唆ー

○佐々 沙織¹, 尾崎 千恵子², 鈴木 佳代³, 後藤 雪絵⁴

1. 医療法人あかね会土谷総合病院, 2. 社会福祉法人松友会らんの里,
3. 医療法人社団泉会東名富士クリニック, 4. 東京医療学院大学

P3A-5 その人らしさを尊重した終末期ケアのあり方を検討するデスカンファレンスの
実践報告

○酒井 あづみ¹, 酒井 武志¹, 大橋 愛実¹, 黒田 友梨子², 青木 一毅³

1. 社会福祉法人安房地域医療センター看護部, 2. 社会福祉法人安房地域医療センタ
ーリハビリテーション室, 3. 社会福祉法人安房地域医療センター診療部

P3A-6 認知症を有する高齢患者に対する院内ディケアでの実践報告

○富田 ゆり子, 新保 知枝, 松田 拓也

済生会川口総合病院

3B 群 座長:久保田 チエコ (明海大学保健医療学部)

P3B-1 後期高齢男性介護者における終末期配偶者への面会の意味
ー死の受容過程に着目してー

○白見 史恵¹, 橋本 弓恵²

1. 日本赤十字看護大学看護学部, 2. おにくら循環器内科クリニック

P3B-2 ひとり暮らし高齢者の在宅死を実現するための在宅療養支援に関する
スコーピングレビュー

○中村 恵美¹, 長江 弘子²

1. 亀田訪問看護センター, 2. 亀田医療大学

P3B-3 意思決定が困難な終末期がん患者を支える家族への看護
ー外来でがん薬物療法を継続した一事例ー

○飯田 寛美

牛久愛和総合病院

P3B-4 訪問看護師が認識する終末期在宅療養者の語りの意味

○中村 いお美, 春名 誠美
四日市看護医療大学

P3B-5 訪問看護ステーションにおけるデスカンファレンスの実施と課題

○江波戸 ゆかり
帝京平成大学千葉キャンパス健康医療スポーツ学部看護学科

P3B-6 都市部に住む高齢男性の死別後の独居生活の再構築を目指した訪問看護
ケア方法－内容の重要性と実行可能性の検証－

○森實 詩乃
関東学院大学

一般演題 示説(ポスター)発表 4

10月3日(土)15:30～16:15

4A 群 座長:藤村 朗子 (東京医療保健大学看護学部)

P4A-1 看取り期にある療養者に寄り添い関わり続けるための支援
－多職種への死の受容過程の理解の促進と心理的サポート－

○芝原 弥千代¹, 石橋 信江²
1. ナーシングホーム悠ライフ, 2. 三重県立看護大学

P4A-2 脊椎転移による腰背部痛に対して、多職種で非薬物療法を強化する取り組み
をしたことで、QOL 向上へ結びついた事例の報告

○長田 文菜, 大橋 亜矢
鎌ヶ谷総合病院

P4A-3 終末期食道がん患者の「形あるものを食べたい」という希望を支えた
多職種連携の一症例

○荒牧 直子, 中島 豪, 小高 桂子, 菅根 理恵, 田中 春奈
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

P4A-4 慢性心不全患者のチーム医療における看護実践に関するスコーピングレビュー
－上級看護実践看護師の実践に焦点を当てて－

○八代 大輔¹, 長江 弘子²
1. 亀田総合病院, 2. 亀田医療大学

P4A-5 当院における終末期の食支援の実態調査と課題

○竹内 悦子, 宇賀 玲実
日野原記念ピースハウス病院

P4A-6 クリティカルケア領域での Shared Decision Making における看護実践
の構成要素－A Scoping Review－

○藤倉 由美恵¹, 足立 智孝², 島田 由美子³

1. 亀田医療大学大学院博士後期課程, 2. 亀田医療大学, 3. 東京ベイ・浦安市川医療センターICU/CCU/SCU

4B 群 座長: 中村 円 (札幌医科大学保健医療学部)

P4B-1 看護系大学の老年看護学におけるエンドオブライフケア教育の実態と教員が学生に期待するコンピテンシー

○東條 紀子¹, 酒井 禎子², 小長谷 百絵¹

1. 新潟県立看護大学, 2. 新潟薬科大学

P4B-2 COSMINに基づく Death Literacy Index および翻訳・適応版の測定特性に関するシステムティックレビュー

○小関 英里¹, 神谷 綾子², 満島 杏子²

1. 自衛隊中央病院, 2. 防衛医科大学校医学教育部看護学科

P4B-3 エンゼルケアにおける詰め物手技の適正化に関する実証研究

○森岡 広美¹, 田中 麻記子², 橋詰 知子², 宇屋 貴²

1. 畿央大学, 2. 株式会社公益社

P4B-4 高齢化する知的障害者のエンドオブライフケアに関する国内文献レビュー

○田中 里美, 葉袋 淳子, 内野 聖子
岐阜医療科学大学看護学部

P4B-5 NP 教育課程修了者の成長のための学修経験に関するスコーピングレビュー

○片倉 あゆ美^{1,2}, 長江 弘子³

1. 亀田総合病院, 2. 亀田医療大学大学院博士後期課程, 3. 亀田医療大学大学院

P4B-6 地域在住後期高齢者におけるポリファーマシーとオーラルフレイルおよび嚥下障害リスクとの関連

○那須 真弓¹, 矢野 聡子², 児玉 千佳子², 千葉 由美³, 市村 久美子²,
市村 和太⁴, 中村 郁子⁵, 伊藤 久美子⁶, 磯野 敦⁷

1. 亀田医療大学, 2. 茨城県立医療大学, 3. 横浜市立大学, 4. 市村歯科医院,
5. 茨城県歯科衛生士会, 6. 茨城県栄養士会, 7. 日本言語聴覚士連盟

一般演題 示説(ポスター)発表 5

10月4日(日)10:00~10:45

5A 群 座長: 矢野 聡子 (茨城県立医療大学保健医療学部)

P5A-1 教看護系教育機関におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)教育に関する現状と課題

○高 紋子¹, 原沢 のぞみ², 岩崎 孝子

1. 昭和医科大学保健医療学部, 2. 東邦大学看護学部, 3. 杏林大学保健学部

P5A-2 終末期における「食べること」の意味と QOL との関連:文献レビュー

○有田 弥棋子¹, 岡本 奈都²

1. 大阪医科薬科大学看護学部看護学科, 2. 京都大学医学部附属病院

P5A-3 A 大学における看護学生のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の認知度調査

○佐藤 予右子, 中村 江衣

日本医療大学保健医療学部看護学科

P5A-4 地域在住高齢者の生き方・逝き方の語りからみた意思決定支援への示唆

○福澤 大樹, 葉袋 淳子, 内野 聖子, 山田 裕加, 船戸 恵子

岐阜医療科学大学

P5A-5 医師と対立構造にあった療養者と家族に対し、穏やかな在宅看取りを実現した看護実践

○谷垣 静子¹, 仁科 祐子², 乗越 千枝³, 長江 弘子⁴

1. 岡山大学大学院保健学研究科, 2. 鳥取大学医学部保健学科, 3. 四天王寺大学看護学部, 4. 亀田医療大学看護学部

P5A-6 認知症の母親介護を担った息子に対する訪問看護師のエンドオブライフケア－訪問看護師の語りから－

○彦 聖美¹, 曾根 志穂², 矢口 和美¹

1. 公立小松大学保健医療学部看護学科, 2. 金城大学公衆衛生看護学専攻科

5B 群 座長:仁科 祐子 (鳥取大学医学部)

P5B-1 病態が安定している時期の心不全患者のアドバンス・ケア・プランニング看護支援プログラムの開発過程

○宮崎 博士

札幌市病院局市立札幌病院

P5B-2 「化学療法を続けたい」という思いに向き合った外来での ACP 支援－繰り返しの対話で想いをきき、多職種共有が実現へとつなげたプロセス－

○高橋 裕季, 高木 美那, 永窪 佳子, 金田 千恵子

東京都健康長寿医療センター看護部

P5B-3 自宅で最期を迎えることを希望した骨髄異形成症候群患者への精神科リエゾンチーム支援

○木村 陽子, 扇澤 史子

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

P5B-4 在宅看取り文化が根付く離島地域における ACP 普及への課題

－与論島民の認識調査－

○川上 悠理恵, 大田 知佳子, 川上 清美, 橋本 かの子
無所属

P5B-5 知的障害者の意思形成に着目した意思決定支援

－エンドオブライフを見据えた検討－

○堀田 真弓¹, 曾根 志穂¹, 大畑 友紀¹, 彦 聖美²

1. 金城大学公衆衛生看護学専攻科, 2. 公立小松大学保健医療学部看護学科

P5B-6 アドバンスケアプランニング(ACP)における国内外の研究・実践動向

－過去5年間(2021-2026年)の変遷と今後の展望のスコーピングレビュー－

○加藤 裕規

児童発達支援・放課後等デイサービスにこ

一般演題 示説(ポスター)発表 6

10月4日(日)11:00~11:45

6A 群 座長:乗越 千枝(四天王寺大学看護学部)

P6A-1 エンドオブライフ・ケアにおける「神聖なコミュニティ」の維持メカニズム

－米国ホスピスにみる祝祭性と交渉秩序－

○片桐 資津

鹿児島大学法文学部

P6A-2 介護付有料老人ホーム職員による看取りケアアンケートからのメタファー化

－入居期間別にみた入居者に対する「その人らしさ」の捉え方－

○安藤 太佳予¹, 鯨島 栞², 山下 ひろみ³, 柿田 尚子⁴, 蟹江 広人³, 長谷川 奈々子²

1. 社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院, 2. 愛知県立大学, 3. 株式会社オリジン
介護付き有料老人ホームフラワーサーチ大府, 4. 一宮研伸大学

P6A-3 終末期人工栄養の意思決定を支えるベッドサイドへの立ち返りの実践

○大家 理恵

公立学校共済組合北陸中央病院内科

P6A-4 人生の最終段階における悪性黒色腫患者の意思決定支援

－関係性の中で再構成された意向変化の意味を考察した一事例－

○福島 里子

東京医科大学八王子医療センター

P6A-5 娘が捉える高齢母の「よい死」の構成要素――事例の分析――

○服島 景子

千里金蘭大学

P6A-6 一医療機関の回復期リハビリテーション病棟、患者との死別体験

○杉山 桂子、村木 天音
よこすか浦賀病院

6B 群 座長:矢口 和美 (公立小松大学保健医療学部)

P6B-1 終末期における言葉の変容と意識の拡張

ー「子供と離れたくない」から「言葉を残したい」へのプロセスー

○島袋 百代
地方独立行政法人那覇市立病院

P6B-2 20代から40代の子宮頸がん患者に対する妊孕性支援の実態調査

○渡邊 恵¹、佐藤 真由美²、三條 真紀子²

1. ふじハートクリニック, 2. 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

P6B-3 中小規模事業所におけるがん治療と仕事の両立支援研修への要望や課題に関する質的研究

○佐藤 真由美
国際医療福祉大学大学院

P6B-4 終末期心不全患者の家族に対する看護支援に関する文献検討

○相原 暖和、川添 紀子
日本医科大学付属病院

P6B-5 終末期ケアの実践の意味づけとデスカンファレンス開催支援

ー急性・重症患者看護専門看護師によるコンサルテーション事例ー

○酒井 武志¹、大橋 愛実¹、黒田 友梨子²、青木 一毅³

1. 安房地域医療センター看護部, 2. 安房地域医療センターリハビリテーション室,
3. 安房地域医療センター診療部

P6B-6 多くを語らない壮年期食道がん患者の希望を叶えた看護の一事例

○遠山 節子、庄司 裕美、遠藤 わか子、高野 和也
株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

一般演題 示説(ポスター)発表 7

10月4日(日)13:30~14:15

7A 群 座長:川上 千春 (浜松医科大学医学部)

P7A-1 複合的な課題を抱える乳がん末期の女性とその家族を支える多職種連携

ー在宅看取りを支えた包括的支援の実例ー

○猪原 彩子
白十字訪問看護ステーション

P7A-2 在宅緩和ケア充実診療所における看護師の実践内容
ーインタビューによる業務の明確化ー

○枝川 奈都美¹, 山崎 智可¹, 北林 正子²

1. 富山県立大学看護学部, 2. 富山県立大学非常勤講師

P7A-3 文献から見た高齢知的障害者グループホームにおける支援者の困難と
看護職との協働のあり方

○森木 律子¹, 矢口 和美²

1. 宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科, 2. 公立小松大学保健医療学部看護学科

P7A-4 訪問看護師が捉える ACP の兆しと実践への課題

ーA 訪問看護ステーションにおける現状把握を通してー

○中野 久美子

南部知多訪問看護ステーション

P7A-5 在宅緩和ケアにおける薬剤師の実践

ー終末期がん患者の死とその後の家族への伴走に着目してー

○菊地 真実

東京大学

P7A-6 在宅終末期がん療養者支援において看取り期に訪問看護師の困難が重層化
する背景ー国内文献の記述に基づく検討ー

○船戸 光恵

岐阜医療科学大学看護学部

7B 群 座長: 戸谷 幸佳 (群馬県民健康科学大学看護学部)

P7B-1 急性期病棟における病棟看護師を対象としたアドバンス・ケア・プランニングに
関する意識調査

○蓑田 玲

潤和会記念病院

P7B-2 海外の大学保健管理施設における看護職の役割に関する文献レビュー

○天野 幸加, 佐藤 真由美

国際医療福祉大学大学院

P7B-3 主介護者であった超高齢者 1 事例の在宅エンド・オブ・ライフ・ケア
ー訪問看護師による支援内容と支援のポイントー

○齊田 綾子¹, 堀口 裕子¹, 有坂 千賀子¹, 水谷 美智代¹, 佐々木 恵¹, 大竹 亮子¹,
仲條 香生里¹, 倉林 花実², 井出 亜紀², 武藤 由紀子²

1. 公立七日市病院在宅医療支援センター, 2. 公立七日市病院外来

P7B-4 ヘキ地における筋萎縮性側索硬化症の人々の暮らしを支える多職種連携の
コンテクストー文献レビューー

○渡邊 賢治

自治医科大学看護学部

P7B-5 第2報:都市住民の自由記述から探る活動の利点と互助意識の世代差

○塚原 ゆかり¹, 菊池 有紀²

1. 湘南医療大学保健医療学部看護学科, 2. 東京医療保健大学千葉看護学部看護学科

後援・協賛企業 / 団体 ご芳名一覧（順不同・敬称略）

【後援】

一般社団法人茨城県言語聴覚士会
一般社団法人茨城県病院薬剤師会
茨城摂食嚥下障害看護認定看護師会
医療法人鉄蕉会亀田総合病院
学校法人鉄蕉館亀田医療大学
公益社団法人茨城県栄養士会
公益社団法人茨城県看護協会
公益社団法人茨城県歯科医師会

一般財団法人長寿社会開発センター
一般社団法人日本言語聴覚士協会
公益社団法人茨城県歯科衛生士会
公益財団法人さわやか福祉財団
公益社団法人千葉県看護協会
公益社団法人東京都看護協会
公益社団法人日本看護協会
一般社団法人全国訪問看護事業協会

【助成・補助】

一般社団法人つくば観光コンベンション協会
公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

【協力】

一般社団法人つくば観光コンベンション協会，つくば市

【共催セミナー】

株式会社レナテック
花王株式会社

株式会社エンゼルケア

【プログラム・抄録集広告】

学校法人鉄蕉館亀田医療大学
医療法人鉄蕉会亀田総合病院
医療法人博仁会

社会福祉法人太陽会安房地域医療センター
医療法人三友会三枝病院

【バナー広告・幕間広告】

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

株式会社明治安田総合研究所

一般社団法人日本看護学校協議会共済

【企業展示】

株式会社メルシー

ユサコ株式会社

東洋羽毛北関東販売株式会社

太陽化学株式会社

株式会社桔梗屋織居

キッコーマンニュートリケア・ジャパン株式会社

株式会社フォーカルコーポレーション

株式会社 VIP グローバル

株式会社ヒュー・メックス

PLIMES 株式会社

株式会社 H.BANESU

【物産展示・販売】

図書出版木星舎

株式会社 AS 企画

Japan Academy of Integrated Care (JAIC)

【寄付】

株式会社日本サービスセンター

匿名

秋山 正子

日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会の開催にあたり、多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

日本エンドオブライフケア学会 第 9 回学術集会

学術集会長 足立 智孝（亀田医療大学看護学部）

副学術集会長 秋山 正子（マギーズ東京）

令和8年 8 月吉日

企画委員・実行委員一覧（五十音順）

学術集会長 足立 智孝（亀田医療大学看護学部）

副学術集会長 秋山 正子（マギーズ東京）

事務局 長 那須 真弓（亀田医療大学看護学部）

企画実行委員

岩城 典子（マギーズ東京）

ケリー・ジェイムズ（亀田医療大学）

川添 紀子（日本医科大学付属病院）

鈴木 玲子（亀田医療大学）

栗原 幸江（上智グリーンケア研究所）

中村 円（札幌医科大学）

佐藤 真由美（国際医療福祉大学大学院）

榎本 輝樹（亀田医療大学）

実行委員

相原 暖和（日本医科大学付属病院）

田村 かおり（国際医療福祉大学大学院）

秋山 眞太郎（亀田総合病院）

中村 恵美（亀田総合病院）

青山 美紀子（横浜創英大学）

長坂 眞弓（ふくろうクリニック目白台）

阿部 美鈴（亀田医療大学）

林 愛（武蔵野国分寺公園クリニック）

天野 幸加（国際医療福祉大学大学院）

原 由茉（亀田総合病院）

石井 光子（石川県立看護大学）

日向野 香織（医療創生大学）

石井 里奈（日本医科大学付属病院）

福島 里子（東京医科大学八王子医療センター）

大金 美羽子（日本医科大学付属病院）

藤倉 由美恵（亀田医療大学大学院）

大木 美憂（国際医療福祉大学大学院）

増藤 亮子（東京医科大学八王子医療センター）

片倉 あゆみ（亀田総合病院）

八代 大輔（亀田総合病院）

児玉 千佳子（茨城県立医療大学）

矢野 聡子（茨城県立医療大学）

小泉 満希子（国際医療福祉大学大学院）

吉田 有美子（聖路加国際病院）

佐藤 由美恵（国際医療福祉大学大学院）

吉村 友里（国際医療福祉大学大学院）

杉山 桂子（よこすか浦賀病院）

渡邊 賢治（自治医科大学）

高橋 玲子（亀田医療大学）

渡邊 麻紀子（みなみ野病院）

竇田 尚樹（亀田総合病院）

渡邊 恵（ふじハートクリニック）

立木 宣子（平和台病院）

カメラ担当（未定）

第10回学術集会チラシ カラー

学会図書チラシ カラー

博仁会(後付け1頁)モノクロ

安房地域医療センター(裏表紙裏)カラー

亀田医療大学(裏表紙)カラー